「鬼と写真撮ろうぜ」

「写真を撮ろう」と鬼が呼び込む

節分の福豆配りも

経堂本町通り

節分にあたる2月3日、世田谷区の経堂本町会（経堂本町通り商店会）で、この時期としては初となるイベント「本町通り　節分祭」が開催された。

主な企画は2本立て。一つは、先着20組の親子が赤鬼・青鬼と記念撮影でき、漏れなくお菓子ももらえるというもの。撮影の後にはガラポン抽選会もあり、チョコレートやハンカチタオルなどの景品も用意された。

もう一つは、世田谷八幡宮で祈とうしてもらった福豆を、鬼たちが会員店舗へ配って回る「豆配り」。

いずれも昨年8月に就任した若手役員が地元を盛り上げるために「何か新しいイベントをやりたい」と意気込んでいたことを受け、他の役員らとアイデアを出し合い企画した。

鬼との撮影会は午後3時半からスタート。外出先から帰る家族連れに足を止めてもらおうと、斉藤晴彦商店会長をはじめとするスタッフが「商店会の節分イベントです。鬼と記念写真を撮りましょう。お菓子もありますよ」と呼び込む。

中には本格的な鬼の扮装を怖がって泣き出してしまう乳幼児もいたが、多くの子は撮影会を楽しんでいた。

午後5時過ぎからは会員店舗への豆配り。本来なら豆を投げられるはずの鬼たちが「福は内」と言いながら各店を回る姿は不思議なおかしさがあった。

新役員の1人、蓑口（みのぐち）真巳（まさみ）さんは経堂で生まれ育った。子ども時代の、商店主らに見守られていた安心感を今も覚えている。

そのため「本町通りをもっとアットホームな商店会にして、子どもが安全に暮らせる街にしたい」と話し、今後も子どもが喜ぶイベントを検討しているという。

通りすがりの子どもに福豆を渡す赤鬼

品川区商連

「木ッカケうさぎ」探せ

SNSで環境保全PR

品川区商店街連合会では未来の子どもたちのために森林などの環境保全を考えてもらおうと、啓発事業「木ッカケ」に30年以上取り組んでいる。

その一環として2月10日から3月25日までは、事業と区内にある木製品を扱う店舗のPRを目的とした「旅する木ッカケうさぎキャンペーン」を展開している。

事業のシンボルキャラクター〝木ッカケうさぎ〟の木製イラストパネル（デカうさ・チビうさ）を探して写真を撮り、インスタグラムに投稿すると抽選で152人に秋田杉の皿や、ウッドスタンドミラー、ヒノキのわっぱ丸形弁当箱といった木製品などの賞品がもらえる。

「デカうさ」は高さが90センチメートルほどで、のほほんとしたうさぎが切り株を転がしているイラスト。中延商店街振興組合を皮切りに、戸越銀座商店街連合会、のんき通り商店会、武蔵小山商店街振興組合の4商店街で、それぞれ10日ほど巡回展示される。

対して「チビうさ」は、高さ20センチほど（写真㊤）。切り株に腰かけるうさぎがウッドバーニング（電熱ペンによる焦がし方式）で描かれている。デカうさが回る商店街のほか、二葉3丁目進和会と青物横丁商店街振興組合にある推奨店舗「ネイバーフーズショップ」に期間中置かれる。

参加者はいずれかの商店街で撮影し、「#旅する木ッカケうさぎ」のハッシュタグを付け希望商品を明記して投稿する。異なる商店街であれば1人で複数回投稿してもよい。

区商連では「宝探し感覚でうさぎを探しながら商店街を散策して、お気に入りを見つけてもらえたら」としている。

中延商店街に置かれた「デカうさ」パネル

「地域にかがやく」

全国から商店街募集

中小企業庁
4月8日まで

中小企業庁が、全国を対象とした「地域にかがやく　わがまち商店街表彰2024」を実施する。次世代リーダーが中心となって地域の魅力を高めるなど、創意工夫している商店街を募集中だ。

応募できるのは、振興組合や事業協同組合に限らず、任意組織の商店会でもよい。まちづくり会社等も商店街と連名で応募できる。

自薦・他薦は問わず、これまで中企庁から「元気のある商店街」「がんばる商店街」「はばたく商店街」に選ばれたことのある商店街も、新たな取り組みやその後の発展事例なら対象となる。

審査のポイントは、多様な関係者を巻き込んでいるか、現状と課題を分析できているか、地域の資源と個性を生かしているか、収益性があるか、情報発信を積極的にしているか、など。

有識者らによる書類審査と2次審査のヒアリングをへて、10者程度を選定する。7月中旬に結果発表と表彰式が行われる予定。

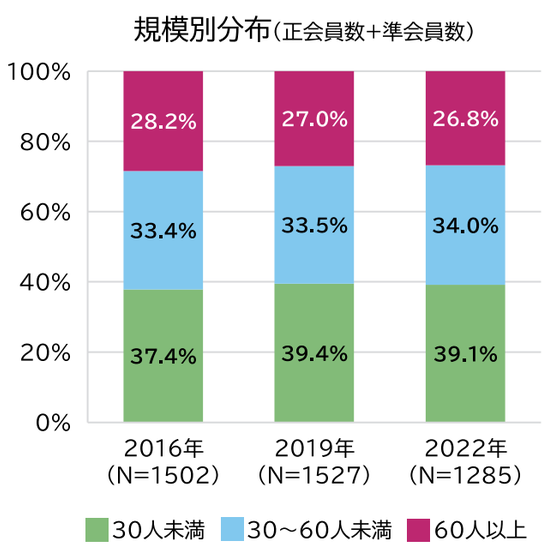
申請書類のダウンロードなど詳細はサイト（QRコード）で。締め切りは4月8日正午。

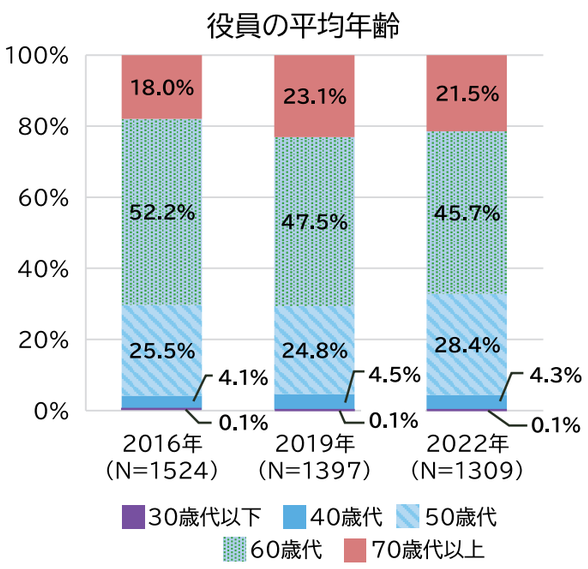
東京都による商店街実態調査　調査結果のポイント

連載 2

商店街数2374件／回収数1349件（回収率60.5%）／調査時期2022年10月～2023年1月

会員数の分布に大きな変化はなく、30人未満で構成される組織が多い。
役員の平均年齢は50歳代の割合が前回（2019年）より増加している。





調査は商店街振興の基礎資料とするため都が1989年から3年に1度実施しているものです

IT導入 国が補助

複数社連携で最大3000万円

4月15日まで

中小企業庁「IT導入補助金2024」の申請受付が始まった。中小企業・小規模事業者の業務効率化やDX推進、ITツール導入を国が支援するもの。

補助には「インボイス枠」「セキュリティ対策推進枠」などのほかに「複数社連携IT導入枠」があるのが特徴。10者以上が集まるグループや商店街振興組合で申請することができる。

補助対象は、インボイス制度に対応した会計・受発注・決済ソフト、ITツールなどの「基盤導入経費」、人流分析ソフトなどの「消費動向等分析経費」、事務や外部専門家などにかかる「その他経費」。

基盤導入経費と消費動向等分析経費の合計で最大3000万円まで補助を受けられる。その他経費は上限200万円。

活用方法としては、異業種間のデータ連携、面的なキャッシュレス化などに使え、例えば、地域にAIカメラを設置し来街者の回遊データを分析する、電子地域通貨を導入しアプリで効果的な情報発信につなげる、といったケースがある。

2023年度補正予算で2024年も実施するもので、受け付けは4月15日まで。交付決定は5月、事業実施は11月の予定。

詳細は中企庁の特設サイト（QRコード）で。

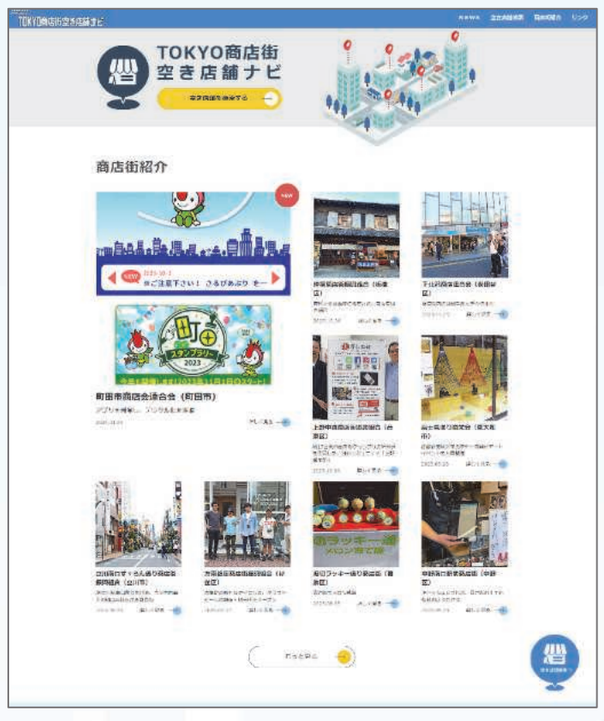
TOSHINREN-information

東京都内の空き店舗情報を取りまとめたポータルサイト『TOKYO商店街空き店舗ナビ』

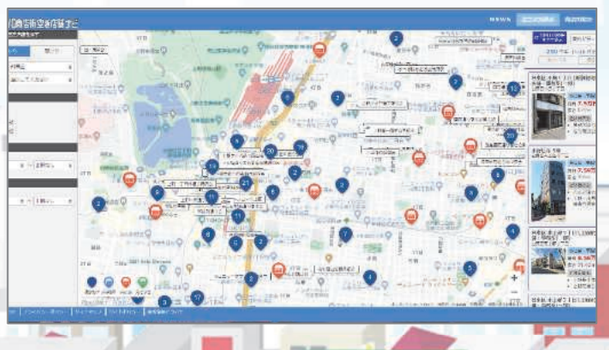
◆空き店舗や貸事務所を「地域」「駅」「地図」の条件から検索できます
◆物件情報には近隣商店街名が表示されます
◆物件情報は大手不動産業者登録のものなので安心です
◆情報は最新版かつリアルタイムで把握できます

などなど、お役立ち機能アリなうえ、必要な情報満載です
ぜひご利用ください！

TOKYO商店街空き店舗ナビ
ご存知ですかー?!



◀トップページ
コンテンツメニューが
ひと目でわかる
シンプルレイアウト


◀物件情報ページ
アイコンクリックで
対象物件を表示

バナー掲示の協力商店街を
まだまだ募集中！
TOKYO商店街空き店舗ナビ

問い合わせ：東京都商店街振興組合連合会／03-3542-0231　URL：https://akitenpo.tokyo　スマートフォンはこちらから▲